

青森県の農林水産業の概要

特徴・取組

青森県は、日本海、津軽海峡および太平洋と三面を海に囲まれ、中央には大型の内湾である陸奥湾をかかえている。

県の中央部には奥羽山脈が連なり、海域や地形が複雑なことから、同じ県内でも、地域によって気候が大きく異なる。

日本海側に位置している津軽地域は、夏は比較的好天に恵まれ、冬は大陸からの冷たい季節風の影響により雪が多い。

太平洋側に位置している県南地域は、オホーツク海に発達する高気圧の影響により、春の終わってから夏にかけて冷たいヤマセ（偏東風）が吹き、冬は晴天の日が多く雪が少ない。

県内総生産（令和2年度）を産業別にみると、第3次産業が75.5%、第2次産業が21.1%、第1次産業が4.6%となっている。

第1次産業の内訳は、農業が4.0%、林業が0.1%、水産業が0.5%である。

青森県の農業産出額（令和4年）は、3,168億円 で東北第1位（全国第7位）であり、主な内訳は、果実が1,051億円、畜産が952億円、野菜が657億円、米が405億円となっている。

津軽地域では、米とりんご、県南地域では、米及び畜産、野菜（主に根菜類）が重要な地位を占めている。県全体の農業産出額の主要部門別構成割合は、多い順に、りんご主体の果実が33%、畜産が31%、野菜が21%、米が13%で、バランスが取れた構成となっている。

りんごは、国内生産量の約6割を占めており、販売額では9年連続で1,000億円を超え、台湾を中心に年間約3万3千トン（令和4年）を輸出している。

漁業（令和4年）では、いか類の漁獲量が全国1位、ほたてがい（養殖）の収穫量が全国2位となっている。

青森県では、人口減少社会の進展や消費動向の変化などに伴う課題に対応するため、販売力強化、生産性向上、人財育成、農山漁村振興の4つの柱に沿って「農林水産力」を強化するための「農林水産力」強化本部を設置し、農林水産業が持続的に発展する社会の実現に向けて、農林漁業者や、市町村、関係団体などの関係者が、共通認識を持って連携・協力しながら取り組んでいくこととしている。

具体的には、専門的な事項を推進する8つの部会を設置し、数値目標を設定した「農林水産力」強化パッケージに掲げたプロジェクトを推進し、生産者や関係団体等との対話を重視して実施することとしている。

主な農林水産物

りんご

弘前市を中心とした中南部地域での生産量が県全体の約6割を占め、年間を通して全国に出荷されている。（収穫量全国1位）



ごぼう

「偏東風（ヤマセ）」が吹く夏季冷涼な太平洋側で栽培され、香りや風味が良く、身が締まっているのが特徴。（収穫量全国1位）



あおもり和牛

（黒毛和牛）銘柄牛が多数あり、中でも「あおもり倉石牛」は、数多くの受賞歴を持つなど、高い評価を得ている。



ほたてがい（養殖）

陸奥湾を中心に養殖で生産され、冷涼な気候と穏やかな湾により、品質・味とも優れている。（収穫量全国2位）



しじみ

主要産地の十三湖、小川原湖は味と品質から全国ブランドとなり、トレーサビリティ体制を整備している。（漁獲量全国2位）



にんにく

国内出荷量の7割を占める青森県産は、大玉で1片が大きく、雪のような白さの「福地ホホワイト」系統が生産されている。（収穫量全国1位）



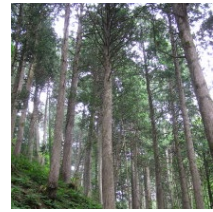
やまのいも

（ながいも）「ガンクミジカ」と呼ばれる系統が栽培され、粘りが強くアクが少ないのが特徴。（収穫量全国2位）



ヒバ

「県の木」に指定されているヒバは、耐湿性や耐久性に優れ、建築材のほか工芸品や家具が作製されている。



いか類

するめいかは県内全域で、一本釣りや定置網で漁獲。あかいかは太平洋沖合域で一本釣りで漁獲されている。（漁獲量全国1位）



ひらめ

「県の魚」に指定されており、稚魚生産、放流など栽培漁業に取り組み、漁獲量の安定化につなげている。（漁獲量全国3位）



青森県内の各地域における農林水産物

東青（とうせい）地域

【農畜産物】水稲、トマト、りんご、黒房すぐり（カシス）
ねぎ、ほうれんそう、肉用牛、鶏卵、生乳
【林産物】ひば、すぎ
【水産物】こんぶ、やりいか、みずだこ、くろまぐろ、するめいか、ほたてがい（養殖）

下北（しもきた）地域

【農畜産物】水稲、だいこん、ばれいしょ、夏秋いちご、かぼちゃ、アピオス（ほどいも）、生乳、肉用牛
【林産物】ひば、すぎ
【水産物】するめいか、ほたてがい（養殖）、さけ・ます類、こんぶ、かれい類・ひらめ、くろまぐろ

西北（せいほく）地域

【農畜産物】水稲、りんご、ぶどう、メロン、すいか、だいこん、やまのいも（ながいも）、花き、豚、肉用牛
【林産物】ひば、すぎ
【水産物】わかめ、しじみ、するめいか、さけ・ます類、かれい類・ひらめ、めばる、やりいか

上北（かみきた）地域

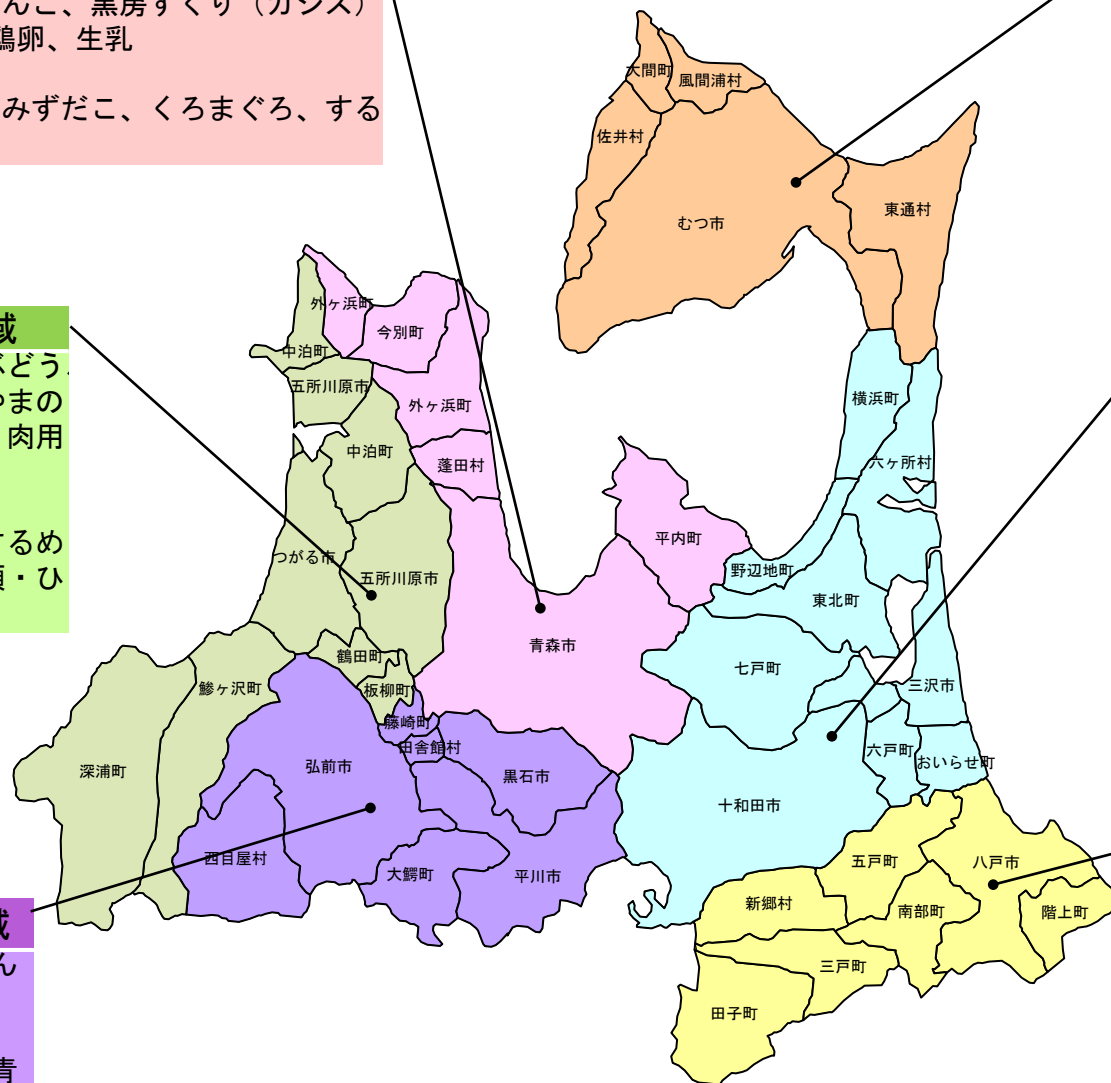
【農畜産物】水稲、やまのいも（ながいも）、にんにく、だいこん、ごぼう、かぶ、肉用牛、鶏卵、青森シャモロック
【林産物】すぎ、あかまつ、しいたけ
【水産物】するめいか、ほたてがい（養殖）、さけ・ます類、かれい類・ひらめ、ほっきがい、しじみ、わかさぎ、ひめます、なまこ

中南（ちゅうなん）地域

【農畜産物】りんご、水稲、にんじん、だいこん、とうもろこし、もやし、ぶどう、花き、トマト、ミニトマト、にんにく、鶏卵、青森シャモロック、豚
【林産物】すぎ、山菜

三八（さんぱち）地域

【農畜産物】水稲、やまのいも（ながいも）、葉たばこ、にんにく、食用ぎく、きゅうり、ねぎ、ごぼう、いちご、おうとう（さくらんぼ）、りんご、花き、鶏卵、ブロイラー、肉用牛
【林産物】すぎ、あかまつ、えのきたけ
【水産物】するめいか、いわし類、さば、さけ・ます類、こんぶ



青 森 県 の 農 業 (1)

- ・耕地面積は14万8,400haで全国4位。うち田が7万8,100ha、畑が7万300ha。
- ・農業経営体数は2万9,022経営体で全国13位。うち法人経営体が646経営体で20位。
- ・認定農業者数は9,029経営体で全国4位。うち法人数が553法人で22位。

耕地面積

区 分	青 森 県	全 国	全国順位
耕地面積	148,400 ha	4,297,000 ha	4
田	78,100 ha	2,335,000 ha	10
畑	70,300 ha	1,962,000 ha	3
普通畑	35,400 ha	1,120,000 ha	7
樹園地	22,000 ha	253,500 ha	2
牧草地	12,800 ha	589,000 ha	3
参考) 総土地面積	964,510 ha	37,797,539 ha	8

出典:「令和5年耕地面積(7月15日現在)」、「令和6年全国都道府県市区町村別面積調(1月1日時点)」(国土交通省国土地理院)

荒廃農地面積

区 分	青 森 県	全 国	全国順位
荒廃農地面積	3,996 ha	253,217 ha	24

出典:「令和4年度の荒廃農地面積(令和5年3月31日現在)」

担い手への農地の集積状況

区 分	青 森 県	全 国	全国順位
担い手への集積面積	86,689 ha	2,573,672 ha	4
集積率	58.1 %	59.5 %	11

出典:「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和4年度版)」

都道府県の農業、林業、漁業の表の見方

・令和6年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用

・表中に使用した記号は次のとおり

「O」: 単位に満たないもの(例: 0.4t→Ot)

「-」: 事実のないもの

「…」: 調査を欠くもの

「x」: 秘密を保護するため統計数値を公表しないもの。

「*」: 秘密を保護するため統計数値を公表していない都道府県を除いた順

農業経営体数、農家数及び集落営農数

区 分	青 森 県	全 国	全国順位
農業経営体数	29,022 経営体	1,075,705 経営体	13
法人経営体	646 経営体	30,707 経営体	20
総農家数	36,465 戸	1,747,079 戸	23
販売農家	28,062 戸	1,027,892 戸	13
参考) 世帯総数	511,526 世帯	55,830,154 世帯	31
集落営農数	182 集落営農	14,204 集落営農	29

出典:「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)、「令和5年集落営農実態調査結果(令和5年2月1日現在)」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区 分	青 森 県	全 国	全国順位
基幹的農業従事者数	48,083 人	1,363,038 人	7
男	26,576 人	822,144 人	8
女	21,507 人	540,894 人	4
65歳以上	29,326 人	948,621 人	9
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	61.0 %	69.6 %	-
認定農業者数	9,029 経営体	219,846 経営体	4
法人数	553 法人	28,720 法人	22
参考) 総人口数	1,237,984 人	126,146,099 人	31

出典:「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和5年3月末現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

青 森 県 の 農 業 (2)

- ・農業産出額は3,168億円で全国7位。うち野菜が657億円(20.7%)、果実が1,051億円(33.2%)、畜産が979億円(30.9%)。
- ・農畜産物の生産状況は、にんにく、ごぼう、りんご、アンズが全国1位、やまのいも、なたねが2位、だいこん、かぶ、西洋なしが3位。
- ・農業生産関連事業は、農産加工の年間販売(売上)金額が133億円で全国24位、事業体数は700事業体で14位。

農業産出額

区 分	青森県	全国	全国順位
農業産出額	3,168 億円 (100.0)	90,015 億円 (100.0)	7
米	405 億円 (12.8)	13,946 億円 (15.5)	12
麦類	x 億円	647 億円	- *
雑穀	1 億円	83 億円	13
豆類	8 億円	715 億円	15
いも類	15 億円	2,199 億円	14
野菜	657 億円 (20.7)	22,298 億円 (24.8)	12
果実	1,051 億円 (33.2)	9,232 億円 (10.3)	1
花き	19 億円	3,493 億円	40
工芸農作物	17 億円	1,551 億円	14
その他作物	x 億円	607 億円	- *
畜産	979 億円 (30.9)	34,678 億円 (38.5)	10
肉用牛	171 億円	8,257 億円	14
乳用牛	89 億円	9,013 億円	17
生乳	83 億円	7,916 億円	16
豚	240 億円	6,713 億円	11
鶏	466 億円	9,716 億円	5
鶏卵	234 億円	5,638 億円	8
ブロイラー	217 億円	3,940 億円	4 *
その他畜産物	12 億円	979 億円	6
加工農産物	0 億円	565 億円	44

出典：「令和4年生産農業所得統計」

注：()は農業産出額を100%とした割合である。

農畜産物の生産状況

区 分		年次	青 森 県	全 国	全国順位
なたね	収穫量	R5	346 t	3,680 t	2 *
だいこん	収穫量	R4	107,300 t	1,181,000 t	3
かぶ	収穫量	R4	5,740 t	105,100 t	3
にんにく	収穫量	R4	13,500 t	20,400 t	1
ごぼう	収穫量	R4	42,600 t	116,700 t	1
やまのいも	収穫量	R4	45,500 t	157,200 t	2
りんご	収穫量	R5	374,000 t	603,800 t	1
西洋なし	収穫量	R5	1,480 t	19,700 t	3
ブロイラー	飼養羽数	R5	6,905 千羽	141,463 千羽	4 *
アンズ	収穫量	R3	1,250 t	1,849 t	1

出典：「作物統計」、「野菜生産出荷統計」、「果樹生産出荷統計」、「畜産統計」、「特産果樹生産動態等調査」

農業生産関連事業の年間販売(売上)金額及び事業体数

区 分	青 森 県	全 国	全国順位
農産加工	総額 13,340 百万円 事業体数 700 事業体	1,012,818 百万円 28,980 事業体	24 14
農産物直売所	総額 17,153 百万円 事業体数 290 事業体	1,087,897 百万円 22,380 事業体	26 30
観光農園	総額 179 百万円 経営体数 80 経営体	35,999 百万円 5,090 経営体	41 18
農家民宿	総額 55 百万円 経営体数 50 経営体	4,565 百万円 1,170 経営体	20 * 4 *
農家レストラン	総額 350 百万円 事業体数 10 事業体	35,236 百万円 1,330 事業体	34 * 38 *

出典：「令和4年度6次産業化総合調査結果」

青 森 県 の 林 業

- ・林業産出額は117.1億円で全国13位。うち木材生産が113.2億円、栽培きのこ類生産が2.9億円。
- ・林産物の生産状況は、素材生産量が全国6位、あかまつ・くろまつが2位、ねまがりたけ、くろもじが1位。

林業産出額

区 分	青 森 県	全 国	全国順位
林業産出額	117.1 億円	5,806.6 億円	13
木材生産	113.2 億円	3,604.6 億円	7 *
栽培きのこ類生産	2.9 億円	2,079.5 億円	43

出典：「令和4年林業産出額」

林野面積

区 分	青 森 県	全 国	全国順位
林野面積	625,842 ha	24,770,201 ha	9
国有林	380,463 ha	7,153,338 ha	2
民有林	245,379 ha	17,616,863 ha	30
人工林面積	267,324 ha	10,133,111 ha	12

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

林業経営体数

区 分	青 森 県	全 国	全国順位
林業経営体数	678 経営体	34,001 経営体	19
法人経営体	117 経営体	4,093 経営体	9

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

林産物の生産状況

区 分	青 森 県	全 国	全国順位
素材生産量	979 千m ³	22,082 千m ³	6 *
針葉樹	942 千m ³	20,386 千m ³	6
あかまつ・くろまつ	73 千m ³	559 千m ³	2 *
からまつ	32 千m ³	1,430 千m ³	5
広葉樹	37 千m ³	1,696 千m ³	10 *
ねまがりたけ	生産量 22 t	77 t	1
くろもじ	生産量 44 t	47 t	1
わらび	生産量 22 t	649 t	8
生うるし	生産量 5 kg	1,766 kg	9

出典：「令和4年木材需給報告書」、「令和4年特用林産基礎資料」

製材工場数

区 分	青 森 県	全 国	全国順位
工場数	63 工場	3,804 工場	31
製材用素材の入荷があった工場数	63 工場	3,778 工場	31
国産材のみ	59 工場	3,054 工場	24
国産材と輸入材	4 工場	560 工場	35

出典：「令和4年木材需給報告書」

青 森 県 の 漁 業

- ・ 漁業産出額のうち、海面漁業・養殖業産出額は535億円で全国6位。
- ・ 水産物の生産状況は、海面漁業のいか類が全国1位、ひらめが3位、海面養殖業のほたてがいが2位、内水面漁業のしじみが2位。
- ・ 漁業生産関連事業は、水産加工の年間販売（売上）金額が109億円で全国4位、事業体数は40事業体で10位。

漁業産出額

区 分	青 森 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	535 億円	14,372 億円	6

出典：「令和4年漁業産出額」

漁業経営体数

区 分	青 森 県	全 国	全国順位
海面漁業経営体数	3,702 経営体	79,067 経営体	3
内水面漁業経営体数	406 経営体	4,772 経営体	3

出典：「2018年漁業センサス（平成30年11月1日現在）」

漁業就業者数

区 分	青 森 県	全 国	全国順位
海面漁業就業者数	8,395 人	151,701 人	3
男	6,921 人	134,186 人	3
女	1,474 人	17,515 人	4

出典：「2018年漁業センサス（平成30年11月1日現在）」

漁船隻数

区 分	青 森 県	全 国	全国順位
漁船隻数	4,860 隻	132,201 隻	9
動力漁船	2,749 隻	69,920 隻	8

出典：「2018年漁業センサス（平成30年11月1日現在）」

水産物の生産状況

区 分	青 森 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	143,149 t	3,862,831 t	5 *
海面漁業漁獲量	63,514 t	2,950,992 t	13
いか類	11,640 t	59,342 t	1 *
ひらめ	726 t	5,898 t	3
海面養殖業収穫量	79,635 t	911,839 t	4 *
ほたてがいが	77,882 t	172,078 t	2
内水面漁業・養殖業生産量	2,722 t	54,115 t	7 *
内水面漁業漁獲量	2,655 t	22,612 t	3
しじみ	2,045 t	8,313 t	2
内水面養殖業収穫量	67 t	31,503 t	27 *
にじます	59 t	4,462 t	15 *

出典：「令和4年漁業・養殖業生産統計」

漁業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分	青 森 県	全 国	全国順位
水産加工	総額 10,922 百万円 事業体数 40 事業体	181,820 百万円 1,460 事業体	4 * 10 *
水産物直売所	総額 863 百万円 事業体数 20 事業体	37,410 百万円 840 事業体	13 * 12 *
漁家民宿	総額 94 百万円 経営体数 10 経営体	5,986 百万円 740 経営体	16 * 15 *
漁家レストラン	総額 147 百万円 事業体数 10 事業体	11,598 百万円 420 事業体	19 * 9 *

出典：「令和4年度6次産業化総合調査結果」

青森県の農林水産業の話題等

あおもり米ブランド力強化のもと 「はれわたり」全国デビュー

令和5年秋、青森県の新しいブランド米「はれわたり」が全国デビューしました。

「はれわたり」は、地方独立行政法人青森県産業技術センター農林総合研究所が、青森県で広く生産できる味の良いお米として開発した品種で、「美味しさ」に加え、「寒さ」に強いことや稲で最も怖い病気の「いもち病」にも強いことから、令和4年度に県の奨励品種に指定され、令和5年度から本格的な作付けがスタートしました。

炊きあがったお米はやわらかく、白米アミロース含有率が低いことから粘りがあって食味が良いと評価されており、令和5年産の「はれわたり」は、日本穀物検定協会による食味ランキングで「特A」を獲得しています。

県では、「はれわたり」を始め、「青天の霹靂」と「まっしぐら」の3品種について、新たな需要を獲得するため、関係団体が一体となり販売対策に取り組む「あおもり米販売戦略」を策定し、安定した販売の実現へ向けた取り組みを実施しています。



晴れわたっている青森の空が目印のパッケージ

新規就農者向けの「りんご高密度植栽培園地」 の経営モデル園を設置

令和5年、弘前市内の農業法人と農業関連会社が連携し、「～未来へつなぐ青森りんご産地育成プロジェクト～」として、弘前市小沢地区で「りんご高密度植栽培」の経営モデル園（5ha）を設置し、実践的研修を踏まえた独立就農を支援する取り組みを開始しました。

研修期間は2年で、延べ8名の研修生の受入れを予定し、研修期間終了後は、1人当たり50a規模の「りんご高密度植栽培」での独立就農を目指しています。この他、地域の空き家を研修生の住居とする支援なども行っています。

「りんご高密度植栽培」は、従来の樹形より栽培管理の作業効率が良いことに加え、早期多収が期待される栽培技術となっています。経営モデル園では、りんごの他、ハウス4棟（10a）で、シャインマスカットやいちじく等、多品目栽培の複合経営も研修可能となっています。今後は、経営モデル園の面積を、毎年1haずつ増やし、新規就農者の独立先として提供することも予定しています。



定植1年目の高密度植栽培園地



定植後10年以上経過した高密度植栽培園地